

教えて！

組合員さんの

春の「泣き・笑い」エピソード集



春はウキウキ、明るさを感じる季節です。卒業・引越など寂しい別れもありますが、新しい出会いもあったり…。そんなさまざまな春のエピソードが組合員さんから届きました。

卒業・入学編

卒業式

子ども泣かずに親が泣く

小学校や中学校の卒業式で卒業生が歌う歌は毎回感動もの。卒業して何年もたった今でも、その曲を聞くと涙が出ちゃいます。

(泣き上戸さん)



兄弟愛

25年前、中学の卒業式に両親が来られなくなり、代わりに7歳上の兄がスーツを着て来てくれました。父母の中に若い男性がいたことで、友達が騒ぎ出し、恥ずかしいような嬉しいような、一生忘れられない思い出です。

(光くんありがとう)

卒園の友

子どもの卒園式で、親の有志で出し

物をしました。フリフリの衣装を着て踊ったり歌ったり、練習の日々。子どもたちは学校もバラバラになり、会うこともほとんどなくなりましたが、その時の母グループは一生の友となりました。

(オバザイルさん)

親心

子どもの小・中・高・大学の入学式・卒業式をすべて出席し、成人式まで追っかけをしました。入社式も行きたかった…。

(健康第一さん)



失敗談

友人のお話ですが…、お子さんの大卒入学式に参加するのに自家用車で4時間かかるので、スーツのしわを気にして、現地に着替えることにしていたそうです。結局スーツを忘れてしまい、参加できなかったとのこと(泣)。

(キャンディさん)

痛い入学式

長男の中学入学式当日の朝、なかなか起きてこないとと思ったら、首が痛くて動かせないらしい。寝違えたのか？ 午後からの入学式に間に合うように病院へ行くと「骨がずれている」と言われてびっくり！ コルセットをつけて式に出席した記憶に残る入学式でした。

(えんびつさん)

春の思い出

子ども達3人の入学・卒業。今まで何回式に出席したことが。それもはるか遠い昔の出来事のように。あの頃は私も若かった。

(案山子の子さん)

今年の春は

2年生、3年生、年子の息子たち。2年続いた、卒園、入学式のセットも今年は「なし!!」なので、ゆっくり春を楽しめたら…と思っています。

(さわさわさん)

始業式

はだしで出席 中学生 空からぼとり ウンがつき

中学2年の始業式。登校する私の足のくつ下に空から鳥のフンが！「えーっ！なんでここに!？」と驚く私に「運がついたね」と友だち。驚きは笑いに変わり、元気に式に出席しました。

(とっとちゃん)



入学祝

発表前にプレッシャー

高校入試の前におじさんから入学のお祝いをいただいております。プレッシャーかかるなあ〜と思います。合格せねばと発奮材料になって受験したのを覚えています。

(しげこちゃん)

引越し・旅立ち編

お引越し
新居の嬉しさ どこへやら

荷造り三昧
肩の荷も増え 白髪増え

お引越しと言えば、何年経っても「開かずのダンボール箱」ってありませんか？ おそらく、我が家だけ!? あの時は捨てられず、必死で荷造りしたはずなのに…。

(引越しこりこりさん)

引越しの思い出

3年前の春、引越しをしました。その時私はお腹が大きくて産休中。実家に一日帰り、産後新居へ引越し予定でした。



引越し前の最後の夜、何もなくなつた部屋でふたりでダンボール箱の上でダン飯!?を食べました。すごく楽しい思い出です。希望いっぱい引越しでした。

(ゆうこさん)

セーフ

単身赴任中の夫が、エレベーターの

ない5階に引越すことになった時のこと。「節約になるから荷物は全部俺が運ぶ」と意気込むので心配になり、「ありがたけれど冷蔵庫や洗濯機もあるし、歳だし、ギックリ腰になったこと

も思い出して」と家族で何度も説得して業者に依頼しました。半年後、夫は軽い腰の痛みを感じ病院に行き、椎間板ヘルニアであることが判明。「体力に自信があるのほどほどにしてくれ」とつくづく思いました。

(不動さん)



4通の置手紙

就職のために次男が巣立ったのは2011年4月でした。震災直後だったので自家用車で送ることができず、新幹線で東京へ向かいました。数日後寂しくなり息子の部屋に行ってみると、おじいちゃん・おばあちゃん・夫・私に宛てた手紙が置いてありました。感謝の言葉で綴られた文章に涙、涙…。次男にメールすると、「やっとみつけたの〜」との返信。手紙で気持ちのくぎりをつけたためなのか、忙しいのか…？ 我が家に帰ってくる事が一番少ないのは次男なのでした。

(ララ丸さん)

お弁当編

お弁当
三つになって 四苦八苦

去年から夫・長男・次男3つのお弁当を作ることに。最初は頑張っていたが、なかなかきつい時はやはりコープさん頼み…。今ではほとんどコープさん。本当に助かっています。

(数の子さん)

コープさん
チチンブイー



力を抜いて

娘が高校に入学してから、毎日のお弁当作りが始まった。プロが作るようなお弁当をイメージしていた私はすぐに挫折し、「お弁当作りは嫌だ、嫌い」となってしまう。そんなある日、娘から「お母さん、明日は冷やし中華にして」というリクエストが！「エッ!? それでいいの?」と聞く私に「うん。〇〇ちゃんちはそうめんの日もあって、とってもおいしそうだった」とのこと。それ以来肩の力が抜け、娘と相談しながら楽しくお弁当を作っています。

(お気に入り焼きうどんさん)

いままでも、これからも

もうすぐ息子も卒業です。高校の3年間のうち私が弁当を作ったのはほんの数えるくらいでしたが、コープのウインナーや骨なしの魚にお世話になりました。今度はうちに戻ってくるのもっとお世話になる頻度が増えます。これからもよろしくお願いします。

(ままりんさん)

顔見ると
おかずは何?と聞く息子



この春末つ子が高校卒業で、長女からはじまり8年間続いた子どもたちのお弁当作りもあとわずかとなりました。「おいしかった」とか「ありがと」とかももちろん言わなければ、きれいに完食されたお弁当箱を洗いながら、また明日のお弁当を考える…。そんな毎日でした。いよいよ最後と思うとちよっぴり寂しい。最後はどんなお弁当にしようかな、と思いを巡らせています。

(りゅつママさん)